



『第6回生涯学習フォーラム 2004年度報告書』

(平成 17 年 3 月発行)

A 4 120 ページ

本書は、2004 年 6 月 27 日に行った生涯学習フォーラムの一日を紹介したものである。内容としては、「子どもをめぐる家庭と地域の課題」「創年の学習課題と大学の役割」「市民が主役のまちづくりの現状と課題」「生涯学習成果とキャリア開発」「生涯学習の振興方策とまちづくり」など各分野に分かれ、議論したものを収録した。

目次

基調鼎談「生涯学習の観点から「少子・高齢社会の活性化」に関する総合的研究の経過と展望」

滑志田隆 (毎日新聞社人口問題調査会事務局次長)

小澤芳子 (フリーライター・千葉県生涯教育審議会委員会)

福留強 (聖徳大学人文学部児童学科教授・生涯学習研究所所長)

第1分科会「子どもをめぐる家庭と地域の課題」

講話：少子家庭の子どもの生活実態

永池榮吉 (社団法人スコーレ家庭教育振興協会会長)

事例発表：子どもの町宣言と子ども条例のまち

慶田泰輔 (鹿児島県志布志町長)

事例発表：子育て支援の現状と課題

村田光子 (聖徳大学短期大学部保育科助教授)

松下俱子 (独立行政法人国立少年自然の家理事長)

発表をめぐって：塩美佐枝 (聖徳大学人文学部児童学科教授)

コーディネーター：夏秋英房 (聖徳大学人文学部児童学科助教授)

第2分科会「創年の学習課題と大学の役割」

講話：SOAの学習課題をめぐって

宮坂いち子 (聖徳大学オープン・アカデミー校長)

事例発表：清見潟大学塾の挑戦

庄司勲 (清見潟大学塾塾長)

事例発表：シニアの自発的交流の場とコミュニケーション

叶内路子 (NPO法人コミュニケーション・スクエア21理事長)

発表をめぐって：上條秀元 (宮崎大学生涯学習研究センター教授)

コーディネーター：古市勝也 (九州女子短期大学生涯学習研究センター所長)

第3分科会「市民が主役のまちづくりの現状と課題」

講話：新時代のビジネス戦略・人・物・事づくり 2004

政所利子 (株式会社玄代表取締役社長)

事例発表：館山市「平成子どもふるさと検地」の実践

池田恵美子 (NPO法人南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム理事)

事例発表：コミュニティを通じたまちづくり

田中恵美 (NPO法人まちづくりNPOセレガ事務局長)

発表をめぐって：矢吹正徳 (日本教育新聞社編集局報道部長)

コーディネーター：清水英男 (聖徳大学人文学部児童学科教授)

第4分科会「生涯学習成果とキャリア開発」

講話：キャリア開発と新しい生きかた

河野真理子 (㈱キャリアネットワーク代表取締役会長)

事例発表：まちづくりボランティアの認定資格

齊藤ゆか (全国生涯学習まちづくり研究会)

事例発表：韓国の生涯学習と学点制の現状

金得永 (岐阜韓国教育院院長)

発表をめぐって：近藤真司 (財団法人全国社会教育連合会 雑誌「社会教育」編集長)

コーディネーター：工藤日出夫 (生涯学習ゆめ・みらい研究所主宰)

全体会「生涯学習の振興方策とまちづくり」

渡部徹 (文部科学省生涯学習政策局政策課地域づくり支援室室長補佐)